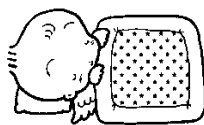


子育て支援情報紙

えんぜる

第271号



令和2年12月1日
足寄町教育委員会
Tel 0156-25-3188

足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp/ki/】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/ki/)

12月

子育て支援カレンダー

紙面

・二面：保護者の目線で情報「癒しのカフェでホッとひと息」のご紹介
・三面：子育ての悩みに答えましょう・休憩室・英語で子育て
・四角：お勧めの本『うそだあ！』『おばあちゃんもごどもです』・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
	つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、 毎週：月・火・木・金 9:30~11:30 事前予約不要、詳細は Tel.25-4415 まで	1 えんぜる編集会議 11:00~ 町民センター	2 おはなしタンポポ 11:00~11:30 対象：3歳未満	3	4	5
6	7	8	9 ひよこクラブ 「中島通公園」	10	11	12
13	14	15 リサイクルの日 10:00~11:30 町民センター	16	17 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター-会議室1・2	18	19
20	21	22 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	23	24	25	26 絵本の会「はらっぱ」 11:00~11:30 対象：小学生低以下
27	28	29	30	31 大晦日	 ひよこクラブ ⇒ 詳細は Tel.25-4415 まで 動物化石博物館 ⇒ 詳細は Tel.25-9100 まで	

☆ 子育て支援・学習と交流の会「すくすく」のご案内

第4回子育て支援・学習と交流の会「すくすく」は、帯広市在住の ineite(イネイト)代表、一般社団法人おかあさんのがっこう peace village 代表理事：道見里美氏による、「子育ては自分育て～ママが笑顔になる秘訣～」と題し、ご講話をいただきます。会員以外の皆様方も、多くの参加をお待ちしております。

・日 時：12月17日(木) 10:10~11:50

・場 所：町民センター1階 会議室1・2

* 会員以外の方で参加希望者は、教育委員会生涯学習担当 加藤又は青木迄ご連絡ください。

Tel 25-3188



癒しのカフェでホッとひと息

～ 心も温まるドライブしませんか？ ～

えんぜる編集員一行が向かったのは、螺湾にオープンしたばかりのCafé de Caminoさん。足寄市街地を出発し色づき始めた山々を眺めながらの約20分間のドライブは私たちを非日常へと連れて行ってくれました。

お洒落な木造のカフェは景色の見晴らせる高台にあり、建物の中に一步入ると全面大きなガラス窓になっていて、編集員のお子さんたちも、夢中で外を眺めていましたよ。

薪ストーブには火が入り温かく迎えてくれました。小さなお客さんの安全のために近々柵も設置されるそうです。内装はラワンぶきの繊維を練り込んだ和紙が貼られていて、地元愛をたっぷり感じました。

メニューには、ひだまりファーム産ノンカフェインのとうきび茶、こだわり焙煎のコーヒー、オーガニックミルク、フルーツティーなどの飲み物

のほか、季節の野菜スープ、キッシュやパウンドケーキなどがあります。取材した日はひだまりファームのコーンやブロッコリー、ラワンぶき、共働学舎のチーズなど、地元や道産の食材がふんだんに使われていました。オーガニック



ミルクのソフトクリームはモ～ウ最高にし・あ・わ・せ～
♥素材にこだわって
いて美味しい上に体
にも優しく、お子さん



も安心して食べられて、心もお腹も大満足でした♪

カフェを任されている細矢千佳さんは山形県出身で地域おこし協力隊として移住して来られました。「人の集まる場所で働きたい！」ずっと



持ち続けたその想いが、このカフェを任される立場へと導きました。カフェのおすすめは？と伺うと「高台から見える景色はもちろんですが、建物の至る所に地元の物や職人さんのこだわりが詰まっている所です。最初のきっかけが、カフェに遊びに来た、だとしても、地元の魅力や、北海道内の良いもの、心地良いもの、頑張っている方の作品や仕事を知って頂くきっかけになれば良いですね。」と、ほんわかした雰囲気の中にも強い志を持った眼で答えてくれました。

毎日頑張っている自分へのご褒美に♪ お子さん連れでも大人だけでも◎ 四季折々の野菜&美味しい空気 &美しい景色&・・・を味わいに出かけてみてはいかがでしょうか？



住所：足寄町螺湾 93-25

営業：10:00-17:00 (変更の可能性あり)
不定休ですが基本的に土日祝は開いています。

詳細は

Facebook：Café de Camino

Instagram：cafe_de_camino

Mail：cafedecamino@gmail.com にてご確認下さい。



☆子育ての悩みに答えましょう☆

Q:最近、寒くなってきたため、寝かしつけの時に添い乳をするようになりまし。すると、お布団に入るなり、添い乳を求めてくるように…。癖にならないか心配です。いつ頃まで添い乳での寝かしつけをしてもよいのでしょうか？ また、ハイハイ時の安全対策について、皆さんはどんなことをしているのか知りたいです。
(六ヶ月 女児)

A:過去の資料より

添い乳をやめさせるのに、明確な時期はありません。それより添い乳を無理にやめさせる必要はないと思いますがどうでしょうか。どうしても不都合が起こるのであれば違う方法で寝かせつけると良いでしょう。

ハイハイの安全対策は、皆さんいろいろ工夫をしているようです。基本となることは、誤って飲み込むと困るものは絶対手の届くところに置かない。角があったり、危険なものは出来るだけ置かないように。

A:先輩のお母さん方より

安定感が大切なので、そのままでよいと思います。どちらにするかは、家庭で決めると良いです。おっぱいを欲しがるのは、ストレスを感じた時もあります。癖になる事はありません。

安全対策については、一〜二歳後半まで、何でも触りたがります。危ないものは手の届かない高い所に上げる事です。

休憩室

『はちみつミルクゼリー&コーヒーゼリー』

【材 料】

(はちみつミルクゼリー)
 はちみつ・・・大さじ2
 牛乳・・・100cc
 ゼラチン・・・4g
 砂糖・・・30g
 水・・・100cc
 (コーヒーゼリー)
 砂糖・・・50g
 インスタントコーヒ
 ー・・・8g
 ゼラチン・・・8g
 水・・・400g

【作り方】

- はちみつミルクゼリー
 - ① 牛乳に、はちみつを加え人肌に温める。
 - ② ゼラチンと砂糖を混ぜ、水を入れた鍋に少しずつ加え溶かす。火にかけ沸騰後2分で火を消し、①を加え混ぜる。
 - ③ グラスに②を注ぎ、冷蔵庫で冷やす
- コーヒーゼリー
 - ④ ゼラチンと砂糖を混ぜ、水を入れた鍋に少しずつ加え溶かす。火にかけ、沸騰後2分で火を消しインスタントコーヒーを加え混ぜる。
 - ⑤ ③が固まったら④を注ぎ冷蔵庫で冷やし固める。

英語で子育て

今月は、カフェで英語で注文するときの表現です。

「〇〇ください。」と注文するときは“Can I have 〇〇, please?”

という表現を1つ覚えておくと便利です。

キャ ナイ ハブ
Can I have

ア カーフィー
a coffee,



サム ウォーター
some water,



ソフト サーフ アイス クリーム
soft serve ice cream,



プリーズ
please?

持ち帰るときは“Take away, please.” 店内で飲食するときは“Have here, please.”

と付け加えましょう (^)

私の見つけたお勧めの『本』

『うそだあ！』

作：サトシン 絵：山村浩二 出版社：文溪堂

この絵本には、子どもの夢が炸裂！！「バナナの皮をむいてみたら…」ネタバレしちゃうので続きは書けませんが、お子さんと一緒に「うそだあ！」と突っ込みながら楽しく読めちゃうこと間違いなしです。読み終えた後、ふざけた妄想が止まらない…。

大人は何かとバタバタしちゃう年末年始ですが、ちょっぴり息抜きにお子さんとワクワク、夢のような話で笑っちゃいませんか♪

「ラワンブキを傘にしてたらさ、隣にトトロが入ってきたんだよ！」

「うちのサンタさんはね、足寄牛に乗ってきたよ！」

「うそだあ！！」

…とかね。(笑)



『おばあちゃんも子どもです。』

作・絵：いもとようこ 出版社：金の星社

母の日に何をしたらいいか相談した孫うさぎたちに、お手紙書いたら…とおばあちゃんは教えてくれます。ところが孫たちが書いた手紙を読み上げると「私もお母さんの子どもだったんだ！お母さんに会いたいよー」とおばあちゃんは泣き出してしまいます。そんなおばあちゃんに、孫たちはこんな提案をします。

「おばあちゃんも子どもなんだから、お母さんにお手紙書こうよ！」
読んだ後、心がほっこりしますよ。



編集後記

令和二年はとても短く感じますね。秋になり、ようやく日常らしさが戻ってきたと思っただら、また冬が来るのか…という気持ちです。

さてさて、そんな東の秋のある日、紅葉を見がてら、子どもたちと阿寒湖へ出かけてカナディアンカヌーを初体験してきました。小六の息子、小三の娘、私の三人で一艘のカヌーです。ガイドさんに、先頭が息子、真ん中が娘、後ろに私が座るように言われました。最初、子どもたちは、オールで水を捉える感覚がなかなかつかめないようでしたが、漕ぎ進むにつれてオールさばきも様になってきました。最後の方には、「二人だけの力で漕ぎたいから、お母さんは休んでいて！」と言われました。確かに私が漕がない方が、いかに効率よく進めるか二人で相談して、連携もよくとれています。子どもだけでカヌーを漕ぐことができたという自信もついたようで、上陸したときにはちょっと誇らしげな顔になっていました。良いもの見られたな。

帰り道は、螺旋の「cafe de camino」さんに寄って、本日のスープを飲んで温まってきました。

(編集委員 T・A)